

白井市男女共同参画に関する市内在勤者調査 ご協力のお願い

白井市では、男女共同参画に関する計画の見直しを行うにあたり、市民の皆様のご意見やニーズを伺うため、アンケート調査を実施いたします。

この調査の集計結果をもとに、性別に縛られず誰もが自分らしく輝ける市の実現を目指していきたいと考えております。

調査の趣旨にご理解いただき、本調査にご協力をお願いいたします。

令和6年11月

白井市長 笠井 喜久雄

あなたの声で、白井市の未来をよりよく！

12月6日(金)までに、ご回答をお願いします。

回答に要する時間は15分程度です。

▼インターネットで回答する場合



QRコードまたはURLから回答フォームにアクセスしてください。

※途中保存はできませんので、お時間の余裕がある際にご回答ください。

https://questant.jp/q/shiroi_danjo_kigyoushou_2024



▼紙の調査票で回答する場合

- ① この調査票に回答を直接ご記入ください。
- ② 同封の返信用封筒(切手不要)に入れてポストにご投函ください。
※差出人の名前を書く必要はありません。

■回答はあてはまる番号を○で囲んでください。質問によって、1つだけ○をつけるものと、複数に○をつけるものがあります。また、「その他()」に該当する場合は、()の中に具体的にご記入ください。

■この調査は、市内在勤者 500 人を対象にご協力をお願いするものです。回答の内容は統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。

問い合わせ先

白井市役所 市民環境経済部 市民活動支援課 市民活動支援係
電話:047-401-4078 FAX:047-491-3551



1 家庭生活について

問1 あなたが理想とする男女の役割分担に、最も近いものはどれですか。また、現在のご家庭の状況（一人暮らしの人は、これまでの家庭での状況）に、最も近いものはどれですか。
※家事には、育児・介護を含みます。（A～Bについて、それぞれ選択肢1～7から1つずつ○）

	男性が働き、女性が家事全般をする	女性が働き、男性が家事全般をする	男性女性が共に働き、家事全般は主として女性がする	男性女性が共に働き、家事全般は主として男性がする	男性女性が共に働き、家事全般も男性女性が共にする	特に何も決めず、できる人ができることをする	わからない
A 理想は	1	2	3	4	5	6	7
B 現実には	1	2	3	4	5	6	7

2 仕事について

問2 あなたは、収入の得られる仕事や、家庭内における家事（育児・介護を含む）などに1日平均どのくらい時間をあてていますか。（A～Cについて、それぞれ選択肢1～7から1つずつ○）

	8時間以上	6～7時間くらい	4～5時間くらい	2～3時間くらい	1時間くらい	30分未満	していない、ほとんどしない
A 収入の得られる仕事	1	2	3	4			
B 家庭内の家事（育児・介護を含む）など【平日】	1	2	3	4	5	6	7
C 家庭内の家事（育児・介護を含む）など【休日】	1	2	3	4	5	6	7

問3 あなたが仕事をしている理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 家族の生活を支えるため	2. 家計を補うため
3. 親から家業を受け継いだため	4. 趣味や余暇活動を充実させるため
5. 自分だけの小遣いがほしいため	6. 将来に備えて貯蓄するため
7. 仕事が楽しく、気に入っているため	8. 自分の技能や知識などを活かすため
9. 自分の夢や目標のためにスキルアップするため	10. 社会との関わりを持ちたいため
11. 社会に貢献したいため	12. 働くことは当たり前だと思うため
13. 他にすることがなく時間があるため	14. その他（ ）

問4 女性の働き方についてあなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。(1つに○)

1. 結婚する、しないにかかわらず、女性は働きに出ないで家にいた方がよい
2. 出産や育児を機に退職して家事や育児に専念した方がよい
3. 家事や育児が忙しい時期には休・退職し、子どもが大きくなってから再び働くのがよい
4. 出産や育児にかかわらず、仕事を持ち続けた方がよい
5. 必要に応じて、臨時にパートやアルバイトをするのがよい
6. その他 ()
7. わからない

問5 育児や介護があっても仕事を継続できるようにするにはどのような援助や対策が望まれると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 育児や介護のとき、家族の理解・協力を得ること
2. 育児や介護との両立について、職場内の同僚・上司の理解が得やすいこと
3. 配属や仕事の内容に他の従業員と差を設けないこと
4. 待遇（給与、昇進）に他の従業員と差がないようにすること
5. 育児・介護を行う社員の雇用機会や採用数を同等にすること
6. 保育・介護施設や保育・介護制度が充実していること
7. 病人や高齢者の世話が家族のだれか一人に任されないようにすること
8. 出産や育児、介護を機に家族のうちだれかが仕事を辞めることのないようにすること
9. 育児休業や介護休業等が取りやすいこと
10. その他 ()
11. わからない

3 ワーク・ライフ・バランスについて

問6 生活の中での、仕事・家事（育児・介護を含む）・プライベートな時間（地域活動・学習・趣味・付き合いなど）の優先度について、「理想」と「現実」のそれぞれの視点で、あなたのお考えや現状に最も近いものはどれですか。(①～②について、それぞれ選択肢1～8から1つずつ○)

	仕事優先	家事優先	プライベート時間優先	仕事と家事優先	仕事とプライベート優先	家事とプライベート優先	仕事・家事・プライベートを両立	わからない
A 理想は	1	2	3	4	5	6	7	8
B 現実には	1	2	3	4	5	6	7	8

問7 あなたにとって、仕事・家事（育児・介護を含む）・プライベートな時間のバランスは、うまくとれていると思いますか。（1つに○）

- | | | |
|--------------|---------------|----------|
| 1. うまくとれている | 2. ややとれている | |
| 3. あまりとれていない | 4. まったくとれていない | 5. わからない |

問8 あなたの在宅勤務（テレワーク）の実施状況はどれですか。※直近3か月（令和6年8月～10月）を想定してお答えください。（1つに○）

- | | | |
|---------------------|------------|-------------|
| 1. 週に4日以上 | 2. 週に3日程度 | 3. 週に1～2日程度 |
| 4. 月に1～2日程度 | 5. それ以下の頻度 | |
| 6. テレワークをしていない、できない | 7. その他（ | ） |

問9 あなたの職場でのワーク・ライフ・バランスの取り組みについて、どのように認識していますか。（それぞれ1つに○）

①現状

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. すでに十分取り組んでいる | 2. 取り組んではいるが不十分 |
| 3. あまり取り組んでいない | 4. 全く取り組んでいない |
| 5. わからない | |

②今後の必要性

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 積極的に取り組むべき | 2. ある程度取り組むべき |
| 3. 現状のままで問題はない | 4. 取り組む必要がない |

問10 あなたの勤めているところでは、ワーク・ライフ・バランスの取り組みとして、どのようなことを実施していますか。また、実施できれば効果のある取り組みだと思われるものは何ですか。（それぞれあてはまるものすべてに○）

①実施している取り組み

- | | |
|---|---|
| 1. 経営戦略などにワーク・ライフ・バランスを進める趣旨を盛り込んでいる | |
| 2. 育児休業や短時間勤務制度を利用しても評価の際に不利益にならないことをルール化している | |
| 3. ワーク・ライフ・バランスに関する情報提供・相談を行う組織・担当を設けている | |
| 4. 家庭の事情によっては、勤務地を考慮している | |
| 5. ノー残業デーを設けている | |
| 6. 従業員に対して作業の無駄をなくして、早く帰るように励行している | |
| 7. 従業員が休みをとりやすいように、従業員相互で業務を共有できるように工夫している | |
| 8. 従業員一人ひとりに対して、定期的に面談を実施している | |
| 9. 管理職を対象とした研修を実施している | |
| 10. その他（ | ） |
| 11. 特にない | |

②効果のあると思われる取り組み

1. 経営戦略などにワーク・ライフ・バランスを進める趣旨を盛り込む
2. 育児休業や短時間勤務制度を利用しても評価の際に不利益にならないことをルール化する
3. ワーク・ライフ・バランスに関する情報提供・相談を行う組織・担当を設ける
4. 家庭の事情によっては、勤務地を考慮する
5. ノー残業デーを設ける
6. 従業員に対して作業の無駄をなくして、早く帰るように励行する
7. 従業員が休みをとりやすいように、従業員相互で業務を共有できるように工夫する
8. 従業員一人ひとりに対して、定期的に面談を実施する
9. 管理職を対象とした研修を実施する
10. その他（ ）
11. 特にない

問Ⅱ 一般的に仕事と生活の両立をよりよくするために必要と思われるものは何ですか。(3つまで○)

1. 男女が共に家事等の家庭的責任を負うという意識改革
2. ライフスタイルに対する意識改革
3. 育児・介護休業を取得できる期間を延ばすなど、制度の充実
4. 管理職の意識、代替要員の確保など、制度を利用しやすい職場環境の整備
5. 育児・介護休業中の賃金や手当などの経済的支援を充実すること
6. 地域や職場内の保育所、学童保育の整備、保育時間の延長など保育内容の充実
7. 家事等の支援サービスの充実
8. 在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な勤務制度
9. 残業を減らすなど、年間労働時間を短縮すること
10. 育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止
11. パートタイマーなど非正規社員の労働条件の改善
12. 男女が共に仕事と家庭を両立していくことに対する、職場・家族など周囲の理解
13. 家事等に対する社会通念の変化
14. わからない
15. その他（ ）

4 職場について

問12 あなたは職場で次のような不満やストレスを感じることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分の理想よりも労働時間や残業時間が長い
2. 自分の理想よりも収入が低い
3. 雇用が不安定で、いつ解雇になるかわからない
4. 休暇が取りにくい
5. 仕事や通勤で疲労がたまる
6. 職場での人間関係がうまくいかない
7. 仕事へのやりがいを感じられない
8. 男女による格差（待遇面・精神面）がある
9. 不満やストレスを感じることはない
10. その他（ ）

問13 あなたの職場には次のような男女差や性差がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 採用数や採用基準などに男女差がある
2. 配属や仕事内容に男女差がある
3. 待遇（給与・昇進）に男女差がある
4. 男性にだけ残業や休日出勤がある
5. 出産や育児、介護を機に退社する女性が多い
6. 女性は雑用や補助的な仕事が多い
7. セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）がある
8. 男女格差は何もない
9. その他（ ）
10. わからない



問14 次のA～Oの各制度について、あなたは現在までに利用経験がありますか。また、今後の利用／導入をしてほしいと思いますか。(A～Oについて、「①利用経験」と「②今後の利用／導入」の状況を、それぞれ選択肢1～2から1つずつ○)

	①利用経験			②今後の利用／導入	
	利用したことがある／利用している	利用したことはない		今後利用したい／導入してほしい	今後の利用／導入を望んでいない
A 産前産後休暇	1	2	⇒	1	2
B 通院休暇制度	1	2	⇒	1	2
C 妊婦の通勤緩和措置	1	2	⇒	1	2
D 妊娠障害休暇（つわり休暇）	1	2	⇒	1	2
E 育児休業制度、出生時育児休業（産後パパ育休）	1	2	⇒	1	2
F 短時間勤務制度	1	2	⇒	1	2
G フレックスタイム勤務制度	1	2	⇒	1	2
H 始業時刻の繰り上げ・繰り下げ	1	2	⇒	1	2
I 育児のためのテレワーク導入	1	2	⇒	1	2
J 所定外時間の労働の制限	1	2	⇒	1	2
K 育児時間	1	2	⇒	1	2
L 企業内保育	1	2	⇒	1	2
M 介護休業制度	1	2	⇒	1	2
N ボランティア休暇制度	1	2	⇒	1	2
O 生理休暇	1	2	⇒	1	2

問15 今、あなたに子どもが生まれたとしたら、育児休業を取得したいと思いますか。また、家族等の介護が必要になったとしたら、介護休業を取得したいと思いますか。(1つに○)

1. 取得したいと思う ⇒問 16 へ	2. 取得したいと思うが、取得しない
3. 取得したいと思わない	

※問 15 で「2」～「3」と答えた方にうかがいます。

問 15-1 育児休業および介護休業を取得しない主な理由は何ですか。(3つまで○)

1. 職場の同僚の負担が増えて迷惑がかかると思うから
2. 仕事が忙しく取得できる状況にないから
3. 取得しにくい雰囲気が職場にあるから
4. 復帰後の職場や仕事の変化に対応できなくなると思うから
5. 昇任や評価等に影響すると思うから
6. 上司の理解が得られそうにないから
7. 制度を利用できるかわからないから
8. 仕事にやりがいを感じているから
9. 取得すると経済的に苦しくなると思うから
10. 周囲からのサポート体制があるから
11. パートナーの方が子育てまたは介護に適していると思うから
12. 家族に反対されるから
13. その他 ()
14. 特に理由はない
15. わからない

※ここからは全員がお答えください。

問 16 家事(育児・介護を含む)への関わりが少ない男性が、より関わるができるようになるためには、特に何が必要だと思いますか。(3つまで○)

1. 仕事中心という社会全体のしくみを改めること
2. 男性が育児・介護休暇を取りやすくすること
3. 労働時間の短縮や、フレックスタイム制などを導入すること
4. 男性のための育児・介護講座を充実すること
5. 男性自身の意識を高めること
6. 男性が気軽に育児や介護について相談できる体制を充実すること
7. 仕事を持ちながら利用しやすい保育・介護施設を整えること
8. 育児や介護についての地域でのネットワークを整えること
9. 家庭で育児や介護について十分に話し合うこと
10. 男性の育児や介護参加を妨げる社会通念やしきたりを改めること
11. その他 ()
12. わからない

問 17 あなたの現在の職層はどれですか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|--------|
| 1. 管理職 (管理職手当がある者) | 2. 係長職 |
| 3. 主任 | 4. 一般職 |
| 5. その他 () | |

問18 あなたは、将来的にはどのような職層で働きたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 1. 管理職 (管理職手当がある者)
⇒問19へ | 2. 係長職 |
| 3. 主任 | 4. 一般職 |
| 5. その他 () | 6. わからない ⇒問19へ |

※問18で「2」～「5」と答えた方にうかがいます。

問18-1 管理職になりたくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 異動の幅が広がったり、頻繁になったりするのがいやだから |
| 2. 勤務時間が安定せず休暇も取りにくいから |
| 3. 管理職になると、人事管理が煩わしいから |
| 4. 管理職になると、責任が重くなるから |
| 5. 第一線で活躍したいと思わないから |
| 6. 現在の地位が自分に適しているから |
| 7. 家庭生活と両立しにくいから |
| 8. 地域活動や趣味の活動と両立しにくいから |
| 9. 自分の能力に不安があるから |
| 10. 配偶者より高い地位につきたくないから |
| 11. その他 () |
| 12. 特に理由はない |
| 13. わからない |

5 セクシュアル・ハラスメントについて

※ここからは全員がお答えください。

問19 職場において、セクシュアル・ハラスメントが起こる原因は何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 相手を職場の対等なパートナーとしてみていないから |
| 2. 性的言動を相手が不快に思うことがわかっていないから |
| 3. 固定的な性別役割分担意識にとらわれすぎているから |
| 4. 職場内の日常的なコミュニケーションが不足しているから |
| 5. ハラスメントをする側に職業人としての自覚が足りないから |
| 6. 受ける側が毅然とした対応をしないから |
| 7. 一部にモラルの低い人がいるから |
| 8. その他 () |
| 9. わからない |

問20 あなたはこの数年間に、次のようなセクシュアル・ハラスメントを受けて不快に思ったり、他の人から直接相談を受けたりした経験がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 性的関係の誘いを受けた |
| 2. 体を触られたり、体をじろじろ見られた |
| 3. 容姿についてのからかいや性的な冗談、質問をされた |
| 4. 職場の飲み会などで、お酌やデュエットを強要された |
| 5. 「ちゃん」「おじさん」「おばさん」などと呼ばれた |
| 6. 結婚しない理由など、私生活に過度に立ち入る質問をされた |
| 7. 職場のメールに「かわいいね」とか「食事に付き合っ」といった内容が送られてきた |
| 8. 職場に水着やヌードの写真を貼ったり、パソコンの壁紙として利用していた |
| 9. 女性だからということでお茶くみや身の回りのことなどの雑用をさせられた |
| 10. その他 () |
| 11. 受けた経験はない |

問21 あなたの職場には、セクシュアル・ハラスメントの相談を受け付ける窓口がありますか。(1つに○)

- | | |
|----------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
| 3. わからない | |

問22 あなたの職場におけるセクシュアル・ハラスメント対策への取り組みについて、どのように認識していますか。現状及び今後の必要性についてお答えください。(それぞれ1つに○)

①現状

- | |
|--------------------|
| 1. すでに十分取り組んでいる |
| 2. 取り組んではいるが不十分である |
| 3. あまり取り組んでいない |
| 4. 全く取り組んでいない |

②今後の必要性

- | |
|----------------|
| 1. 積極的に取り組むべき |
| 2. ある程度取り組むべき |
| 3. 現状のままで問題はない |

6 白井市への要望について

問23 男女の共同参画を進めるため、これから市が特に力を入れて取り組むべきことは何だ
と思いますか。(5つまで○)

1. 男女共同参画についての学習講座を開くなど、社会教育を充実させる
2. すべての施策に男女共同参画の視点を取り入れる
3. 市全体の男女共同参画を推進するための条例を制定する
4. パートナーシップ宣誓制度やファミリーシップ制度を導入する
5. 市の審議会など、施策を決定する場に女性の参加をもっと増やす
6. 学校での男女平等教育を進める
7. 女性の就労を支援するために、情報提供や職業訓練の場を充実させる
8. 保育所や学童保育など、地域の子育て環境を整える
9. 訪問介護、ショートステイ、デイサービスなどの介護サービスを充実させる
10. 市に男女共同参画を推進するための専門部署を設置する
11. 関連ある情報を積極的に提供する
12. 相談やカウンセリング機能を充実する
13. ひとり親（母子・父子）家庭を援助する
14. 男性が家庭生活で自立できたり、地域活動に参加できたりするような活動を進める
15. 女性の視点に配慮した防災・災害対策を行う
16. その他（ ）
17. 特に何もない（力を入れる必要がない）
18. わからない

◆パートナーシップ宣誓制度とは

自治体が同性同士のカップルを婚姻に相当する関係と認め、証明する制度

◆ファミリーシップ制度とは

パートナーシップ宣誓制度で証明されたカップルの子どもを家族として認定する制度

あなたご自身のことについておたずねします。

F1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|-------|-------|--------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 | 4. 無回答 |
|-------|-------|--------|--------|

F2 あなたの年齢をお答えください。(数字をご記入ください。)

--

歳（11月1日時点）

F3 あなたの現在の就労形態をお答えください。(1つに○)

1. 正規社員	2. 非正規社員（嘱託、契約社員、パートタイム、アルバイトなど）
3. その他（	）

F4 あなたは現在、結婚（事実婚を含む）していますか。(1つに○)

1. している（事実婚またはパートナーを含む）	2. していない（離別） ⇒F5 へ
3. していない（死別） ⇒F5 へ	4. していない（未婚） ⇒F5 へ

※F4で「1. している（事実婚またはパートナーを含む）」と答えた方にうかがいます。

F4-1 あなたの世帯は、共働きですか。(1つに○)

1. 共働き	2. 夫（またはパートナー）だけ働いている
3. 妻（またはパートナー）だけ働いている	

F5 あなたの居住地をお答えください。(1つに○)

1. 白井市内	2. 白井市外の印旛郡市
3. その他の県内	4. 東京都
5. 東京都を除く県外	6. その他（

F6 あなたの同居している家族の構成をお答えください。(1つに○)

1. ひとり暮らし（同居の家族はいない）	2. 夫婦のみ
3. 親と子	4. 親と子と孫
5. その他（	）

※F6で「2」～「4」と答えた方にうかがいます。

F6-1 同居されている方に、次のような方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 就学前の子ども	2. 小学生の子ども
3. 中学生・高校生の子ども	4. 介護を必要とする方
5. 介護を必要としない 65 歳以上の方	6. 同居者にあてはまるものはいない

アンケート調査へのご協力、ありがとうございました。

記入もれがないかご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに **12月6日(金)**までにポストにご投函ください。

※パソコンやスマートフォン等からご回答された方は、紙の調査票は返送しないでください。

